

## 自殺予防職員研修実施報告 ～東京こころといのちのゲートキーパー養成研修～ 気付き・見守り・つなげる

開催日時：20年1月24日 開催場所：杉並区役所 対象：係長級等職員

### 1 研修のねらい

平成19年6月に自殺対策大綱が定められ、自殺対策に対する自治体の役割が明確になった。自殺対策の重要性を杉並区的全職員が認識し、さらに直接区民に対応する窓口職員が理解を深め、適切な対応を図ることが求められている。

このため、研修では自殺が社会的な問題であり、職員一人ひとりが自殺の現状に関心を持ち、対応力の向上が必要であることを知る機会とする。

また、東京都においては自殺対策推進の一環として「ゲートキーパー（自殺防止の門番）育成」に積極的に取り組んでいるところから、23区での初めてのゲートキーパー養成研修の位置づけで東京都と共催で行う。

### 2 参加者

所属	参加者
政策経営部	12
区民生活部	8
保健福祉部	50
教育委員会	12
都市整備部	10
環境清掃部	3
監査・区議会・会計など	4
その他	2
事務局	7
合計	108

### 3 プログラム

東京こころといのちのゲートキーパー養成研修 半日実施（グループワーク除く）

#### 4 研修を終えての意見 まとめ

○「自殺の危険について正しく理解するために」は、自殺の実態やうつ病についての基本的な知識として役立つ内容であり、事例を取り上げた事でより身近なこととして認識された。また、参加者の中には周囲にうつ病や自殺にかかわる事例を経験している者もあり、対応に苦慮した経験者もいた。

○自死遺族やNPOの取り組みについては、当事者による講演内容で参加者に強烈な印象を与え、「他人事ではない」「自分にできる事は？」と考えるきっかけになった。

○気付き、見守りの重要性は認識されたが、実際に対応を要する事例に直面した場合にどの部署や専門機関につなげればよいのか、具体的な相談力の向上への方法などについて、相談窓口の充実や継続的な研修が必要であるといった意見があった。

○まずは、区職員のメンタルヘルスへの取り組みを望む意見があった。

## 杉並区における自殺対策への取り組み経過

- 18年11月 健康都市杉並庁内推進会議のもと、自殺対策部会が設置され、全庁的な取り組みの検討に着手する。  
→特に取り組みが遅れている、社会人となった青年・中高年期を主な対象とする。
- 19年5月 自殺対策部会のもとに自殺対策作業部会を設置し、青年・中高年期を主な対象とした具体案を作成する。  
→ ○青年・中高年期の自殺対策の方針案の作成  
・ 自殺に対する正しい知識の普及  
・ 相談窓口の連携と対応力の向上  
・ 地域の理解と関係機関との連携  
・ 遺された方への支援  
・ うつ病対策  
○相談窓口対応マニュアルの作成  
○研修の企画  
○連携会議についての検討
- 19年10月 庁内推進会議において、青年・中高年期だけでなく他の年齢層に対しての方針案を提出する。
- 20年1月 相談窓口職員の対応力の向上と全庁的な取り組みへの理解を得るため東京こころといのちのゲートキーパー養成研修を区職員向けに実施する。
- 20年2月 自殺対策部会予定